

Duffy

RAOUL

色彩の画家

Maestro of Colors, Raoul Dufy:
Textile Designs Beloved of Parisiennes

ラウル デュファイ展

—パリジェンヌが愛したテキスタイル・デザイン—

2020. 1.25 sat – 3.29 sun 9時~17時 (入場は16時30分まで)
月曜休館(ただし、祝日の場合は次の最初の平日)

観覧料/大人1,200円、大学高校生・70歳以上の松本市民800円 ※20名以上の団体は200円引き ※中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介助者1名無料
前売券/大人1,000円、大学高校生・70歳以上の松本市民600円(取扱いは1月24日まで) プレイガイド/松本市美術館、井上百貨店、こばやし画材、シナノ画房、
手塚信古堂、ローソンチケット、セブンチケット リピート割引/大人1,000円、大学高校生・70歳以上の松本市民600円 ※2回目以降の観覧料。要半券呈示。他の割引との併用不可

[主催]松本市美術館、信濃毎日新聞社、NBS長野放送、産経新聞社 [後援]在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、市民タイムス、MGプレス
[協力]井上百貨店、松本パルコ、イオンモール松本 [企画協力]デュファイ・ピアンキーニ&ヒューマニティーズ・エクステンジ、株式会社テモアン

ドレス・マイ・フェア・レディ テキスタイル《薔薇と扇》ドレス・デザイン:アンソニー・パウエル 制作:モンジ・ギバン 2019年 絹 背景の作品/上《野の花[下絵]》1916-28年頃
グワッシュ・紙/中《貝殻と海の馬》1922-24年頃 金銀糸の入った錦/下《花柄の構図[デザイン原画]》1916-28年頃 グワッシュ・紙 ドレス周りの作品 右上から時計回りに
(形、模様)の順/《花と蝶[デザイン原画]》1916-28年頃、《葉》1932年以降(デザイン1923年頃) クレープ・デ・シンの絹/《薔薇[デザイン原画]》1912-22年頃、《幾何学模様の
構図[デザイン原画]》1919-28年頃 グワッシュ・紙/《花と葉[デザイン原画]》1915-25年頃、《仔象[デザイン原画]》1922-24年頃 水彩、グワッシュ・紙/《仔象[デザイン原画]》
1922-24年頃、《象[デザイン原画]》1920-22年頃 水彩、グワッシュ・紙/《貝殻と海の馬》の仕様書 1980年頃、《ヴァイオリン》1989年(デザイン1914-20年頃)毛織物/
《薔薇》1980年、《ヨーロッパの果物》1920年頃 絹織物 文字の間の作品/《薔薇》1921年頃 絹織物 すべてデュファイ・ピアンキーニ蔵

 松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

色彩の画家 ラウル・デュフィ展 —パリジェンヌが愛したテキスタイル・デザイン—

華やかで明るい色彩と軽妙な筆致の作品で、現代でも多くの人々を惹きつける画家ラウル・デュフィ(1877-1953)。本展では、モダンで優美な絵画と、モードの帝王ポール・ポワレら20世紀初頭のオートクチュールのデザイナーたちが好んで用いた絹織物を含む、デュフィのテキスタイル関連作品を一堂にご紹介します。

陽光があふれる南仏の風景をはじめ、音楽や社交界をテーマとした油彩画など「生きる喜び」に満ちた作品を描いたデュフィは、絵画制作だけでなく、テキスタイル(布地、織物)のデザインにも深く関わりました。デュフィによる鮮やかな色彩と大胆なモチーフの布地は、上流階級の女性たちを魅了し大評判になったといえます。1912年から28年には、フランス・リヨンの絹織物製造業ビアンキーニ=フェリエ社と契約して多くのテキスタイル・デザインを提供し、当時のファッションに多大な影響を与えました。

本展は、初期から晩年までの代表的な絵画作品とともに、テキスタイル・デザインの原画や下絵、オリジナルテキスタイル、そして衣装作品などから、デュフィ芸術における優れた装飾性の本質を引き出し、その魅力に迫ります。

20世紀のフランスを彩った華やかな作品の中で、優雅な時をお過ごしただけであれば幸いです。



1ブラウス、スカート テキスタイル《波》、《はたて貝》デザイン原案：ポール・ポワレ(1915年頃)制作：モンジ・ギバン 2007年 絹 2ドレス テキスタイル《うろこ》ドレスデザイン、制作：モンジ・ギバン 2007年 絹 3イブニング・コート「ベルシニア」テキスタイル《様式化された花、葉飾りと果物》コートデザイン原案：ポール・ポワレ(1911年)制作：モンジ・ギバン 2007年 絹 4《象と枝葉[デザイン原画]》1925年頃 水彩、グワッシュ・紙 5《薔薇》1980年 絹軸 6《ヴァイオリン》1989年(デザイン1914-20年頃)毛織物 7《黄色いコンソール》1949年頃 油彩・キャンバス 大谷コレクション※ 8《ニースの窓辺》1928年 油彩・キャンバス 島根県立美術館蔵※ 9《ダンスホール[紙の試し刷り]》1920年頃 木版・紙背景の作品／《花柄の構図[紙の試し刷りに着彩]》1918-28年頃 木版、グワッシュ、水彩、色鉛筆・紙(色調を変えたもの)／上《アラム》2004年(デザイン1919年)絹 ※以外の作品はすべてデュフィ・ビアンキーニ蔵

【関連プログラム】

ミュージアムコンサート

「デュフィが愛した旋律とベル・エポックのパリの音楽」

デュフィが特に好んだ作曲家の楽曲や19～20世紀のパリで華やかに展開していた音楽とともに、デュフィ作品に関連する歌曲をお楽しみいただく、スペシャルコンサートです。

出演/塚本敦子(ピアノ)、津田裕子(ピアノ)、倉科有紀(ソプラノ)

日時/3月7日(土)14時～15時 会場/多目的ホール

料金/無料(ただし、本展観覧券が必要)

申込/2月7日(金)から松本市美術館へ(定員80名)

Cinema+Museum映画上映「ディリリとパリの時間旅行」

パリの美しき黄金時代を彩った天才たちに出会いながら、少女が事件の謎を解いていく。ベル・エポックのパリへタイムトリップするかのようアニメ作品です。

日時/2月15日(土)13時～、2月16日(日)10時～、14時～ 会場/多目的ホール

料金/1,800円(前売1,400円)、大学高校生1,400円、中学生以下1,000円

※本展観覧券の提示で1,200円、ながの子育て家庭優待パスポートの提示で18歳以下600円

ワークショップ

「体験!シルクスカーフにパターン染め」

シルクを型紙で染めてオリジナルのスカーフを作ります。初めての方も大歓迎です。

講師/丸山邦江(染織家、中信美術会)

日時/3月1日(日)10時～15時

会場/市民アトリエ 料金/2,000円

対象/小学生から大人まで(低学年以下は保護者同伴)

申込/2月7日(金)から松本市美術館へ(定員20名)

館長によるギャラリートーク

日時/2月1日(土)14時～

学芸員によるギャラリートーク

日時/2月22日(土)、3月14日(土)いずれも14時～

料金/無料(ただし、当日有効の本展観覧券が必要)

定員/先着20名程度、企画展示室前に集合

みんなで楽しく、トークフリーデー

3月20日(金・祝)、21日(土)、22日(日)の3日間は、気兼ねなく、親子で、お友達同士で、隣合った人同士で、お話ししながら展覧会を楽しみませんか?

子育てパパ・ママの美術鑑賞日

館内の臨時託児会場でお子様をお預かりします。

日時/2月15日(土)午後、16日(日)午前、29日(土)午後、3月13日(金)午前・午後、3月22日(日)午前

託児時間/午前:9時30分～12時30分、午後:13時～16時

料金/当日有効の観覧券1枚につき、お子様1名無料 ※2人目からは有料(1名追加につき100円)

※関連プログラムのみ参加の場合、および前売券・招待券・割引券利用の場合は有料(お子様1名につき100円)

年齢/生後6ヶ月～未就学児

申込/先着順、希望日の3日前までに松本市美術館へ



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

- 松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線5分「松本市美術館」下車
- JR松本駅からタウンズニーカー(市内周遊バス)東コース14分「松本市美術館」下車
- JR松本駅から徒歩12分
- 長野自動車道松本インターチェンジから車で15分

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22 TEL.0263-39-7400 FAX.0263-39-3400 http://matsumoto-artmuse.jp

